

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	統計調査課長 今田 敏朗	電話番号	0852-22-5075
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	商工県単統計調査等事業
目的	(1) 対象 県、県内経済団体、学術研究機関、民間企業等
	(2) 意図 県の生産動向を把握する「島根県鉱工業生産指数」を作成・提供し、活用してもらう。
事業概要	県の生産動向を把握するため、調査対象から、毎月生産、出荷、在庫のデータを求め「島根県鉱工業生産指数」を作成、提供する。

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 調査対象事業者数	目標値		71.0	71.0	71.0	71.0	%
		取組目標値						
	式・定義 県内の経済活動を的確に捉えるため、調査対象事業者全てからデータを求める。	実績値	70.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	673	892
うち一般財源 (千円)	673	892

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

データが得られない事業所が一つある。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

提出が遅れる事業所もある中、大多数の事業所からはデータを得ることができた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・27年度中に、1事業所から新たにデータが得られなくなった。
- ・提出が遅れがちな事業所があり、データが得られなくなるおそれがある。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・事業所によっては、求めるデータを算出するために数字を抽出する手間が加わる。
- ・事業所の担当者が多忙のため時間を取ってもらえない。

③原因を解消するための「課題」

- ・本調査の意義、役割を理解してもらう。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・未提出、提出遅れの事業所については、状況確認等電話連絡を行い、円滑に提出されるよう努める。
- ・未提出の事業所については、必要に応じて事業所を訪問し、本調査の意義、役割を丁寧に説明し、協力依頼を行っていく。

9. 追加評価（任意記載）

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。